

ロボット介護機器導入実証事業 (通称:ロボット介護推進事業)

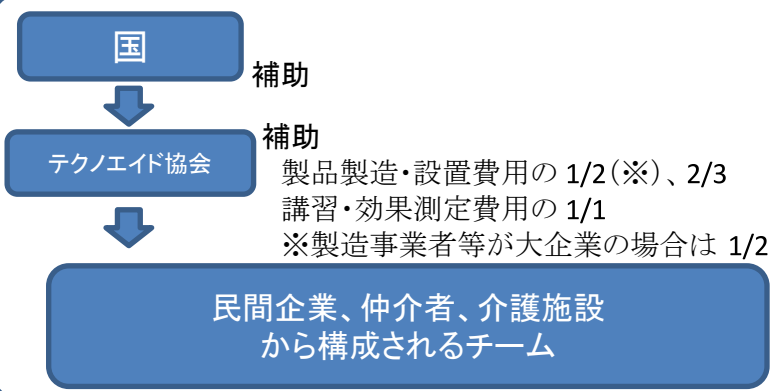
経済産業省 製造産業局 産業機械課
03-3501-1691
公益財団法人テクノエイド協会 企画部
03-3266-6883

事業の内容

事業の概要・目的

- ロボット介護機器については、現場とのコミュニケーションの不足や先行事例が乏しいこと等、市場の不確実性が高く、優れたアイデアを持ちつつも量産化に踏み切れていません。
- 本事業は、量産化への道筋をつけることを目的として、製造事業者と仲介者と介護施設がチームを組んで、実際に現場で活用しながら、ロボット介護機器の大規模な効果検証や改良を行います。
- さらに、検証結果に基づく効果のPR、普及啓発、教育活動を通じて、ロボット介護機器導入の土壌を醸成します。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

ロボット介護機器導入実証チーム 介護現場におけるロボット介護機器の 大規模な導入実証を実施

製造事業者	<ul style="list-style-type: none"> • ロボット介護機器の製造 • 導入講習計画の作成 • 効果検証計画の作成
仲介者 (レンタル業者等)	<ul style="list-style-type: none"> • 導入講習の実施 • 効果検証の実施 • 改良点のフィードバック
介護施設	<ul style="list-style-type: none"> • ロボット介護機器の継続活用 • 効果検証への協力

- 製造事業者、仲介者、介護施設のマッチング支援
- 効果検証効果の集約
- 効果PR・普及啓発・教育活動

ロボット技術の介護利用における重点分野 (平成24年11月22日 経産省・厚労省公表)



ロボット介護機器導入実証事業 事業スキーム

(通称:ロボット介護推進事業)

開発実証事業

補助率

- 製品製造・設置費用の2/3 (中小企業)、1/2(その他)
- 講習・効果測定費用の1/1

経産省

定額補助

公益財団法人テクノエイド協会

メーカー、仲介者、介護施設のリスト化及びマッチング支援

- 導入効果の集約及び効果を元にした普及・広報・教育活動

チームへ補助

メーカー

仲介者

介護実習・普及センター及び地域包括支援センター、市町村、福祉用具貸与サービス事業者 等

介護施設

製品費用の残り1/3又は1/2をチーム内で分担

- 初期ロットのロボット製造
- 導入講習計画作成
- 導入効果測定計画作成

- 導入講習の実施
- 介護現場への導入支援
- 導入マニュアルの作成

導入

量産化への改良

- 導入効果測定の実施
- 改良点のフィードバック

- 導入講習への参加
- 介護施設における継続活用
- 導入効果測定への協力
- マニュアル作成への協力

チームA

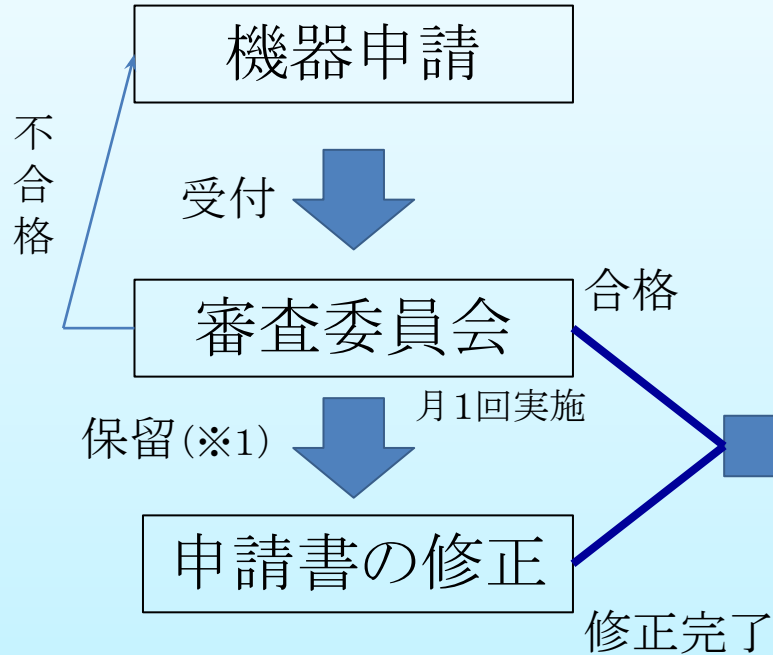
チームB

チームC

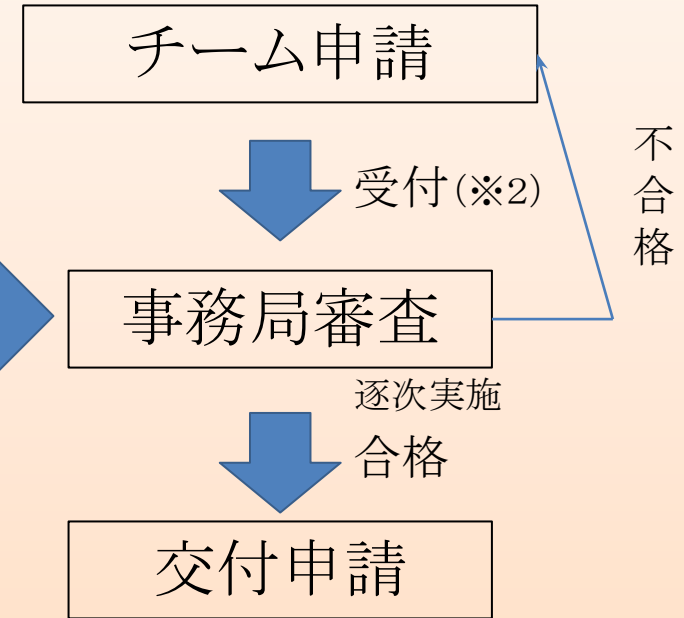
※例えば地域毎に仲介者と介護施設の組み合わせを変えるなど、メーカーは、複数のチーム形成(複数の補助申請)を行うことが可能。

補助対象機器と補助対象チームの決定までの流れ

機器に対する審査



チームに対する審査



交付決定

- ※1 保留の場合は書類が整い次第、不足分を提出または修正してください。
- ※2 チーム申請は機器申請と同時に申請することも可能です。